道路建設 課

分野		主要な道路の整備				番号	38	事業	名			Ĭ	路改築(地	方道 )		
ī	市町村名	飯綱町		ふりがな 箇所名	(	一) 幹礼	<sup>ながえせん</sup> <b>永江線</b>			*************************************	(	事業年度 <sup>完了年度は見込</sup>	H25	年度~	H26	年度
事	区分	事業内容							事業費(千円)		財源内i 国庫 その他		引訳(千円) 	責	一般財源	
業概	全体	全体 道路築造工 L=120m W=5.5m(7.0m) うち函渠工 L=14.5m W=5.5m(7				)m)			2	280,000	126	6,000		126,0	00	28,000
要	H25年度	度 函渠工 L=14.5m W=5.5m(7.0m)							114,000		51,300		51,30	)0	11,400	
	観点	評価項目·指標等				評価						ラン	ク	評点		
	必要性	計画交通量			□ 10	□ 10,000台/日以上 □ 1,500台以上~10,000 ■ 1,500台未満 台/日未満								0		
		代替道路			■唯	一の道路	である		□ 代替となる道路がある						]	3
							/ターチェンシ <sup>*</sup> が し内にある			パンターチェンジが n以上にある		駅やイン	じ		5	
		ネットワーク (道路網)			通 <b>■</b> 規	行不能区 制の解消 性化に資	間、冬期通行 では市街地でする路線であ	0 0	山間業、	地域の生活支援,商工業地域へのアクセ 与する		山間地域の生活支援,商			.	7
						光地に通	じる道路		観光はな	ど地に通じる道路で	;	- 51.				3
		各事業特有の必要性(安全の確保)					は60m未満ス 、半径、勾配			m以上6.5m未満(幅		6.5m以	上(幅員)			4
						動車と自	転車・歩行 を図る	· _		はあるが不十分で ものを再整備			ご自転車・歩行 ↑離がなされて			4
		小 計														26
箇	( 15 )	関連計画との整合			口鬼他	計画に位置 の計画に関	付けがある3連(2個以上)	<sup>Z(‡</sup> ■		画に位置付けがある 他の計画に関連(1		該当なし				4
		設計上の環境・景観配慮地域の法的な位置付け			11 1 - "	境・景観 実性が高	配慮がされ jv	_		€・景観配慮がされ るが確実性が低レ		環境・景 ない	観配慮をして	В		2
						急輸送路 付けられ	¥(1次)に値 ている	<u></u>	地域、	送路(2次) 又は、振興山村、利 過疎地域、地震防災対策強化 光圏整備実施計画認定地域に られている	地一	特別な信	立置づけはない	`		3
		小 計														9
評		費用対効果		■ B,	/C(3便	益)1.0以」		以外	C(3便益)1.0未満(3便 の観点から一定の効果 られる)		B/C(3	3便益)1.0未満	ĵ		3	
価	効率性	事業効果の早期発現 (H25以降残事業年数)			■事	業年数	5年未満		事業	年数 5年~10年未	<b>満</b>	事業年	数 10年以上	А		5
	( 15 )	コスト縮減			■ 全い	体的に構造 てコスト縮減	物・規格等に を実施してい	~ し	部分	的に構造物・規格等に ロスト縮減を実施してい	っ る ロ	コスト縮	減はしていない	`		7
		小計														15
		安全性の向上 各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)				落石等の危を向上させる		交通 所指 せる	事故や落石等の危険( 定はないが安全を向上	ii さ ロ	交通事故ない	や落石等の危険だ			6	
	緊急性			□□動	滞箇所又 1箇所が緩	【は騒音・排 を和する	<b></b>	渋滞では	箇所又は騒音・振動管 ないが、朝夕の局部的 爰和する			兼又は騒音・振 ではない	Ā		5	
	( 20 )	台事未行句の系志は(京席刈東・環境休主) (医療・福祉・教育)			医口で		連携が発持ネック箇所の			・福祉の連携が発揮る道路(円滑化が図		医療・福ない道路	祉の連携に関係	<u> </u>	_	5
			小 計													16
	計画	地域からの要望 事業情報の共有 住民参加の状況 小 計				域住民の  が強い	内発的な	要口	市町	「村からの要望		特に要望	望がない			7
	熟度						に広く周知			者中心に周知			印していない	Α		7
	( 20 )					:氏か計画 :加	i策定に直	ቜ		や市町村の意見 「策定に反映	2 0	特に住民ていない	民意見は反映し 、	-		4
																18
	費用対効果(B/C) 1.72					I I I O T I	× τD Jl εP± dr			面の合計		. ○壬亜-	、4、江北公司内1	A		84 V T C N Z M W
	事業実施に至る歴史的 当路線は飯綱町から上信越自動 経緯・社会的背景 となっているが、幅員も狭いうえに													また、≡ 	ヨエ区は囲子路	
事	地域からの	要望経緯	北信地区縦断県道網整備促進期成同盟会、飯綱町関係組長等、長年にわたり継続的に要望が出されている。													
業	事業説明等	の経緯	H17.5.7 地区代表者説明会 H17.6.14 住民及び地権者説明会 H17.10 計画説明会及び設計   H18 用地立会い完了 H23.11 地元説明会 H24.11 用地立会い													
周辺	環境・景観への配慮項 目		田園地帯を通過	田園地帯を通過するため、極力土羽構造として植生の回復と景観阻害に配慮している。												
他事業・プロジェクトとの関連 JR北陸新幹線アクセス道路関連(H26開業)																
境	特記事項 安全かつ円剤			な交通を確保するため、地域住民が一丸となって事業化に向けて要望がさ						れて	きた箇所で	·. ・. ・. ・.				
L	地域の合意形成		■ 全員賛成		□ 概	□ 概ね賛成			□ 過半数賛成		□ 動向不明					
	部意見	事業の必要事業化した	要性、効率性、緊急性及び計画熟度が高いため、平成25年度から新規 改革課 意見								性が認めら	れる。				